

1 策定の趣旨

国の「第12次職業能力開発基本計画」を踏まえ、人口減少や産業構造の変化、技術革新など、職業能力開発を取り巻く環境の変化に対応した施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第12次徳島県職業能力開発計画」を策定する。

2 位置づけ

職業能力開発促進法第7条第1項に定める「都道府県職業能力開発計画」

4 基本的な方向性

1. 徳島の産業を支える人材の育成

- (1) デジタル技術の進展等による産業構造等の変化への対応
- (2) 「人にしかできないこと」を行う現場人材のスキル向上
- (3) 職業能力開発校（テクノスクール）の再編による職業能力開発の推進
- (4) 産業界や国等の関係機関との連携促進

2. 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進

- (1) 職業人生の長期化に対応する労働者のキャリア形成の支援
- (2) リスキリングによる能力向上支援

3. 多様な人材の職業能力開発の推進

- (1) 非正規雇用労働者の職業能力開発
- (2) 女性の職業能力開発
- (3) 若者の職業能力開発
- (4) 中高年齢者の職業能力開発
- (5) 障がい者の職業能力開発
- (6) 外国人労働者の職業能力開発

4. 技能のさらなる振興と技能継承の推進

- (1) 技能尊重機運の醸成と熟練技能の継承
- (2) 技能検定制度の普及
- (3) 技能五輪国際大会（2028）を契機とした技能競技大会への出場推進

3 計画期間

2026（令和8）年度から2031（令和13）年度までの6年間

5 数値目標

目 標	R2～R6 の平均	R8～R13の 目標値
テクノ「施設内訓練」の就職率	88.4%	90%
「在職者訓練」受講者数	207人	250人
「委託訓練」就職率	80.7%	85%
新「委託訓練」定員充足率	72.4%	75%
「デジタル人材」養成数	83人	100人
「障がい者訓練」就職率	37.8%	60%
新「障がい者訓練」受講者数	11人	12人
「小中高職業体験者数」	871人	1,000人
高校生「技能検定」受検者数	94人	120人
新各種技能競技大会への出場者数	119人	125人

6 今後のスケジュール

R8.2～3 パブリックコメントの実施
R8.3 計画策定